

内 科 学 (1)

Internal Medicine (1)

教 授	小林 正	Masashi Kobayashi
助 教	杉山 英二	Eiji Sugiyama
講 師	丸山 宗治	Muneharu Maruyama
講 師	浦風 雅春	Masaharu Urakaze
助 手	多喜 博文	Hirofumi Taki
助 手	松井 祥子	Shoko Matsui
助 手	山崎 勝也	Katsuya Yamazaki
助 手	佐藤 啓	Akira Sato
助 手	菓子井達彦	Tatsuhiko Kashii
助 手	藤田 聡	Tadashi Fujita
助手(研究休職)	林 龍二	Ryuji Hayashi
助 手(前)	岩田 実	Minoru Iwata

◆ 著 書

- 1) 小林 正: 患者の糖尿病専門医への紹介. 「糖尿病診療マニュアル」村勢敏郎 他編, 288-292, 日本医師会, 東京, 2003.
- 2) 小林 正: 診断と病型分類. 「内科学」杉本恒明 他編, 1687-1694, 朝倉書店, 東京, 2003.
- 3) 小林 正: インスリン (IRI), プロインスリン. 「臨床検査ガイド2003~2004」和田 攻 他編, 541-546, 文光堂, 東京, 2003.
- 4) 小林 正: インスリン受容体遺伝子異常. 「糖尿病遺伝子診断ガイド」日本糖尿病学会 編, 43-46, 文光堂, 東京, 2003.
- 5) 小林 正: 糖代謝. 「内科学」黒川 清 他編, 995-1000, 文光堂, 東京, 2003.
- 6) 浦風雅春: 合併症の症状で受診した患者. 「糖尿病診療マニュアル」村勢敏郎 他編, 48-49, 日本医師会, 東京, 2003.
- 7) 浦風雅春: 合併症診断の進め方. 「糖尿病診療マニュアル」村勢敏郎 他編, 60-61, 日本医師会, 東京, 2003.
- 8) 佐藤 啓: 他の生活習慣病で受診した患者. 「糖尿病診療マニュアル」村勢敏郎 他編, 50-51, 日本医師会, 東京, 2003.
- 9) 山崎勝也: 口渇・多尿などで受診した患者. 「糖尿病診療マニュアル」村勢敏郎 他編, 46-47, 日本医師会, 東京, 2003.

◆ 原 著

- 1) 山口昌樹, 神戸成典, 山崎勝也, 小林 正, 本田宣昭, 筒井宏明, 総田長生: データマイニングによる血糖値の変動傾向の推定. 生体医工学, 41: 129-135, 2003.

- 2) 奥田忠行, 松井祥子, 柴原直利, 関根道和, 上野智浩, 北島 勲: 血液ガス分析器の相違によるPCO₂値の乖離の検討. 臨床検査, 47:553-558, 2003.
- 3) Fujishita T., Loda M., Turner R.E., Gentler M., Kashii T., Breathnach O.S., and Johnson B.E.: Sensitivity of non-small-cell lung cancer cell lines established from patients treated with prolonged infusions of paclitaxel. Oncology, 64:399-406, 2003.
- 4) Harada S., Sugiyama E., Takebe S., Taki H., Shinoda K., Mohamed S.G.K., Maruyama M., Hamazaki T., and Kobayashi M.: Cooperative induction of 15-lipoxygenase in rheumatoid synovial cells by IL-4 and proinflammatory cytokines. Clin Exp Rheumatol, 21:753-758, 2003.
- 5) Imamura T., Huang J., Usui I., Satoh H., Bever J., and Olefsky J.M.: Insulin-induced GLUT4 translocation involves protein kinase C-lambda-mediated functional coupling between Rab4 and the motor protein kinesin. Mol Cell Biol, 23: 4892-4900, 2003.
- 6) Ishihara H., Sasaoka T., Kagawa S., Murakami S., Fukui K., Kawagishi Y., Yamazaki K., Sato A., Iwata M., Urakaze M., Ishiki M., Wada T., Yaguchi S., Tsuneki H., Kimura I., and Kobayashi M.: Association of the polymorphisms in the 5'-untranslated region of PTEN gene with type 2 diabetes in a Japanese population. FEBS Lett, 554:450-454, 2003.
- 7) Nakamura N., Hamazaki T., Johkaji H., Minami S., Yamazaki K., Sato A., Sawazaki S., Urakaze M., Kobayashi M., Osawa H., Yamabe H., and Okumura K.: Effects of cilostazol on serum lipid concentrations and plasma fatty acid composition in type 2 diabetic patients with peripheral vascular disease. Clin Exp Med, 2: 180-184, 2003.
- 8) Nakamura N., Yamazaki K., Sato A., Urakaze M., Kobayashi M., Yamabe H., Osawa H., Shirota K., Sugawara T., Nakamura M., Tamura M., and Okumura K.: Effects of eparlestat on plasma levels of advanced glycation end products in patients with type 2 diabetes. In Vivo, 17:177-180, 2003.

- 9) Sasaoka T., Kikuchi K., Wada T., Sato A., Hori H., Murakami S., Fukui K., Ishihara H., Aota R., Kimura I., and Kobayashi M.: Dual role of src homology domain 2-containing inositol phosphatase 2 in the regulation of platelet-derived growth factor and insulin-like growth factor 1 signaling in rat vascular smooth muscle cells. *Endocrinology*, 144:4204-4214, 2003.
 - 10) Shinoda K., Sugiyama E., Taki H., Harada S., Mino T., Maruyama M., and Kobayashi M.: Resting T cells negatively regulate osteoclast generation from peripheral blood monocytes. *Bone*, 33:711-720, 2003.
 - 11) Suzuki S., Oka Y., Kadowaki T., Kanatsuka A., Kuzuya T., Kobayashi M., Sanke T., Seino Y., and Nanjyo K.: Clinical features of diabetes mellitus with the mitochondrial DNA 3243 (A-G) mutation in Japanese: Maternal inheritance and mitochondria-related complications. *Diabet Res Clin Pract*, 59:207-217, 2003.
 - 12) Usui I., Imamura T., Huang J., Satoh H., and Olefsky J.M.: Cdc42 is a Rho GTPase family member that can mediate insulin signaling to glucose transport in 3T3-L1 adipocytes. *J Biol Chem*, 278:13765-13774, 2003.
 - 13) Yamaguchi M., Kanbe S., Wardell K., Yamazaki K., Kobayashi M., Honda N., Tsutsui H., and Kaseda C.: Trend estimation of blood Glucose level fluctuations based on data mining. *The 7th World Multiconference on Systemics, Cybernetics and Informatics*, 86-91, 2003.
 - 14) Yamaguchi M., Kawabata Y., Kanbe S., Yamazaki K., Kobayashi M., Honda N., Tsutsui H., and Kaseda C.: Study of clinical algorithm for diabetes care based on data mining. *11th Korea-Japan Symposium*, 29-31, 2003.
- ◆ 症例報告
- 1) 多喜博文, 松井千尋, 蓑 毅峰, 篠田晃一郎, 杉山英二, 小林 正: D-penicillamine治療経過中に抗desmoglein-1抗体陽性落葉状天疱瘡を発症した関節リウマチ合併強皮症の1例. *中部リウマチ*, 34:10-11, 2003.
 - 2) 山田 徹, 多喜博文, 杉山英二, 小林 正: D-ペニシラミン投与中の関節リウマチに発症した皮膚筋炎の一例. *中部リウマチ*, 34:28-29, 2003.
 - 3) 大崎博幸, 杉山英二, 多喜博文, 松井祥子, 小林 正: 肺化膿症を契機に発見された全身性エリテマトーデスの1例. *中部リウマチ*, 34:54-55, 2003.
 - 4) 松井祥子, 杉山英二, 多喜博文, 澤崎茂樹, 小林 正: BOOP様の肺浸潤影を繰り返した全身性エリテマトーデスの1例. *中部リウマチ*, 34:56-57, 2003.
 - 5) 澤崎茂樹, 蓮本祐史, 藤田 聡, 多喜博文, 蓑 毅峰, 杉山英二, 小林 正: 肺出血を初発としCRPが低値を示した全身性エリテマトーデスの1例. *中部リウマチ*, 34:60-61, 2003.
 - 6) 高橋三千代, 多喜博文, 杉山英二, 小林 正: 皮膚潰瘍にbFGFスプレーが効果的であった関節リウマチの2例. *中部リウマチ*, 34:102-103, 2003.
 - 7) 岸田みか, 浦風雅春, 常田美佐子, 多喜博文, 山崎勝也, 佐藤 啓, 小林 正, 林 伸一, 田中三千雄: 脳, 副腎転移をきたした十二指腸癌の1例. *Endoscopic Forum for Digestive Disease*, 19:220-224, 2003.
 - 8) 河岸由紀男: 目でみるトレーニング. *Medicina*, 40:542-545, 2003.
 - 9) 河岸由紀男: 目でみるトレーニング. *Medicina*, 40:1773-1776, 2003.
 - 10) 朴木久恵, 河岸由紀男, 小田寛文, 三輪敏郎, 猪又峰彦, 藤田 聡, 松井祥子, 菓子井達彦, 丸山宗治, 小林 正: 肺小細胞癌の治療によりLambert-Eaton筋無力症候群の著明な改善を得た1例. *日本呼吸器学会雑誌*, 41:331-335, 2003.
- ◆ 総 説
- 1) 小林 正, 春田哲郎, 岩田 実: 図説; チアゾリジン誘導体の作用機序. *日本臨床*, 58:5-8, 2002 (前年度追加分).
 - 2) 小林 正: 経口糖尿病治療薬. *総合臨床*, 49:17-22, 2002 (前年度追加分).
 - 3) 小林 正: インスリン療法の進歩と今後の展望—インスリン療法のEBMと実際—. *医学のあゆみ*, 207:753-757, 2003.
 - 4) 小林 正: 糖尿病データ管理ソフトウェアによるデータ収集と解析. *肥満と糖尿病*, 2:125-134, 2003.
 - 5) 小林 正: 糖尿病におけるインスリン抵抗性の病態と治療. *日本内科学会雑誌*, 92:442-447, 2003.
 - 6) 小林 正: 糖尿病—その発症から地域医療まで—.

糖尿病, 46:835-840, 2003.

- 7) 杉山英二: リウマチ診療における血清MMP-3測定の臨床的意義について. シュネラー, 49:10-13, 2003.
- 8) 丸山宗治: COPDの病態評価と治療-栄養管理の面から-. 呼吸器科, 3:136-141, 2003.
- 9) 浦風雅春, 小林 正: インスリン抵抗性とアスピリン. Annual Review内分泌・代謝, 2003, 47-53, 2003.
- 10) 宇野立人, 小林 正: 糖尿病と肥満の相互関係-脂肪細胞からのメッセージをめぐって-. Medical Practice, 20:808-809, 2003.
- 11) 岸田みか, 小林 正: インスリン製剤. カレントセラピー, 21:63-66, 2003.
- 12) 岸田みか, 小林 正: 糖尿病にどう対処するか-合併症を有する糖尿病患者と薬物療法-. メディチーナ, 40:494-496, 2003.

◆ 学会報告

- 1) 菓子井達彦, 山田 徹, 鳴河宗聡, 小田寛文, 三輪敏郎, 藤田 聡, 藤下 隆, 松井祥子, 丸山宗治, 小林 正, 清水正司, 野村邦紀, 瀬戸 光, 松成一朗, 久田欣一: 非小細胞肺癌におけるgefitinib (イレッサ®) の効果: FDG-PETスキャンを用いた治療効果判定. 第47回日本肺癌学会北陸部会, 2003, 2, 金沢.
- 2) 小田寛文, 山田 徹, 鳴河宗聡, 三輪敏郎, 藤田 聡, 藤下 隆, 松井祥子, 菓子井達彦, 小林正, 一木克之, 土岐善紀, 三崎拓郎, 薄田勝男: 当科で経験したbronchioloalveolar carcinoma (BAC) の臨床的検討. 第47回日本肺癌学会北陸部会, 2003, 2, 金沢.
- 3) 松井祥子, 藤田 聡, 鳴河宗聡, 河岸由紀男, 小田寛文, 三輪敏郎, 菓子井達彦, 丸山宗治, 小林 正: 原発性シェーグレン症候群の臨床症状と肺機能の検討. 第43回日本呼吸器学会総会, 2003, 3, 福岡.
- 4) 藤下 隆, 菓子井達彦, 丸山宗治, 白澤専二, 笹月健彦, 小林 正, Johnson, B.E.: ヒト非小細胞肺癌におけるfarnesyltransferase inhibitor, BMS-214662の抗腫瘍効果と作用機序について. 第43回日本呼吸器学会総会, 2003, 3, 福岡.
- 5) 荒屋 潤, 河端美則, 富地信和, 金沢 実, 小林 正: 肺糸状虫症の病理学的検討. 第43回日本呼吸器学会総会, 2003, 3, 福岡.
- 6) 山田 徹, 鳴河宗聡, 宮林弘太郎, 篠田千恵, 河岸由紀男, 小田寛文, 三輪敏郎, 藤田 聡, 藤下 隆, 菓子井達彦, 松井祥子, 丸山宗治, 小林

正: 当科における肺化膿症の臨床的検討. 第43回日本呼吸器学会総会, 2003, 3, 福岡.

- 7) 岩田 実, 笹岡利安, 佐藤 啓, 山崎勝也, 浦風雅春, 小林 正: 気管支カルチノイドによる異所性ACTH産生Cushing症候群の1例. 第13回臨床内分泌代謝Update, 2003, 3, 東京.
- 8) 小橋親晃, 岸田みか, 川原順子, 宇野立人, 岩田 実, 佐藤 啓, 山崎勝也, 笹岡利安, 浦風雅春, 小林 正: ラトケ嚢胞が原因と考えられた中枢性尿崩症の1例. 第189回日本内科学会北陸地方会, 2003, 3, 金沢.
- 9) 本田利栄子, 前坊義正, 宮崎英明, 平田昌義, 太田正之, 杉山英二, 岡田英吉: 結節性紅斑が初発症状であったシェーグレン症候群の1例. 第189回日本内科学会北陸地方会, 2003, 3, 金沢.
- 10) 能登貴久, 河岸由紀男, 東山さつき, 猪又峰彦, 今西信悟, 林 龍二, 藤田 聡, 佐藤 啓, 丸山宗治, 小林 正: ハチ毒急速減感作治療を施行した2症例. 第189回日本内科学会北陸地方会, 2003, 3, 金沢.
- 11) 石塚 健, 岩田 実, 平谷和幸, 宇野立人, 川原順子, 小林 正: 3T3-L1細胞におけるインスリンシグナル伝達に及ぼすアンジオテンシンIIの影響. 第67回日本糖尿病学会中部地方会, 2003, 3, 名古屋.
- 12) 杉山英二, 原田修次, 多喜博文, 篠田晃一郎, 蓑毅峰, 小林 正: IL-4の15-lipoxygenase誘導の意義: 15-LOX代謝産物の抗炎症作用の検討. 第47回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2003, 4, 東京.
- 13) 篠田晃一郎, 杉山英二, 多喜博文, 原田修次, 蓑毅峰, 小林 正: Synovial T cells are capable of inducing multinucleated giant cells from synovial macrophages in rheumatoid arthritis. 第47回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2003, 4, 東京.
- 14) 篠田晃一郎, 杉山英二, 多喜博文, 原田修次, 蓑毅峰, 小林 正: T cells negatively regulate osteoclast generation from peripheral blood monocytes and rheumatoid synovial adherent cells. 第47回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2003, 4, 東京.
- 15) 金 哲雄, 杉山英二, 岸 裕幸, 篠田晃一郎, 多喜博文, 小林 正, 村口 篤: AAVベクターを用いたIL-4, IL-10の多サイトカイン遺伝子導入による関節リウマチの治療の試み. 第47回リウマチ学会総会・学術集会, 2003, 4, 東京.

- 16) 和田 努, 笹岡利安, 村上史峰, 福居和人, 鈴木 亮, 戸辺一之, 門脇 孝, 小林 正: インスリンによるAkt活性化がSHIP2により特異的に抑制される分子機構の解明. 第76回日本内分泌学会学術総会, 2003, 4, 横浜.
- 17) 小林 正: 糖尿病—その発症から地域医療まで—(会長講演). 第46回日本糖尿病学会年次学術集会, 2003, 5, 富山.
- 18) 浦風雅春: 糖尿病患者の脂質管理(教育講演). 第46回日本糖尿病学会年次学術集会, 2003, 5, 富山.
- 19) 笹岡利安, 和田 努, 福居和人, 石原 元, 堀宏之, 小林 正: リピッドホスファターゼとインスリンシグナル伝達. 第46回日本糖尿病学会年次学術集会, 2003, 5, 富山.
- 20) 佐藤 啓, 岸田みか, 小橋親晃, 山崎勝也, 鷹田美智代, 岩田 実, 笹岡利安, 浦風雅春, 小林正: 2型糖尿病患者の頸動脈超音波所見と大血管障害合併率について. 第46回日本糖尿病学会年次学術集会, 2003, 5, 富山.
- 21) 山崎勝也, 小林 正, 高木廣文, 糖尿病データマネジメント研究会: 糖尿病データマネジメントの現状と今後の展望—糖尿病データマネジメント研究会の歩みと成果・今後について—(シンポジウム). 第46回日本糖尿病学会年次学術集会, 2003, 5, 富山.
- 22) 山崎勝也, 小林 正, 高木廣文, 糖尿病データマネジメント研究会: CoDiCを使用した多施設での糖尿病臨床データの解析(第4報)—合併症の現況について—. 第46回日本糖尿病学会年次学術集会, 2003, 5, 富山.
- 22) 平谷和幸, 春田哲郎, 川原順子, 岩田 実, 宇野立人, 福居和人, 村上史峰, 和田 努, 笹岡利安, 小林 正: IRS-1セリンリン酸化におけるmTORおよびJNKの役割. 第46回日本糖尿病学会年次学術集会, 2003, 5, 富山.
- 23) 平谷和幸, 川原順子, 高野敦子, 宇野立人, 岩田 実, 小林 正: インスリン抵抗性におけるIRS-1のセリンリン酸化の意義(シンポジウム). 第46回日本糖尿病学会年次学術集会, 2003, 5, 富山.
- 24) 薄井 勲, 今村武史, Olefsky, J.M.: インスリンによる糖輸送におけるcdc42の働き. 第46回日本糖尿病学会年次学術集会, 2003, 5, 富山.
- 25) 岩田 実, 平谷和幸, 川原順子, 宇野立人, 石塚 健, 笹岡利安, 小林 正: 骨格筋細胞におけるチアゾリジン誘導体の作用機序の検討(PPAR- γ に関連して). 第46回日本糖尿病学会年次学術集会, 2003, 5, 富山.
- 26) 高野敦子, 米田雅代, 井田藤子, 藤沢ひろみ, 中尾大介, 竹田伊希子, 広瀬邦子, 室崎恵美子, 小林 正: 当院における超速効型インスリンの使用経験. 第46回日本糖尿病学会年次学術集会, 2003, 5, 富山.
- 27) 岸田みか, 山崎勝也, 岩田 実, 宇野立人, 川原順子, 佐藤 啓, 笹岡利安, 浦風雅春, 小林正: 自己血糖測定の際の採血部位による血糖値の信頼性とその問題点と検討. 第46回日本糖尿病学会年次学術集会, 2003, 5, 富山.
- 28) 鷹田美智代, 笹岡利安, 山崎勝也, 浦風雅春, 小林 正: インスリン自己注射, 自己血糖測定における手技についての検討. 第46回日本糖尿病学会年次学術集会, 2003, 5, 富山.
- 29) 和田 努, 笹岡利安, 石原 元, 村上史峰, 福居和人, 小林 正: インスリンのAkt活性化がSHIP2により特異的に抑制される分子機構の解明. 第46回日本糖尿病学会年次学術集会, 2003, 5, 富山.
- 30) 村上史峰, 笹岡利安, 石木 学, 和田 努, 石原 元, 福居和人, 平谷和幸, 川原順子, 堀 宏之, 岩田 実, 小林 正: インスリンの蛋白合成作用におけるSHIP2の役割と過栄養状態での意義の解明. 第46回日本糖尿病学会年次学術集会, 2003, 5, 富山.
- 31) 小橋親晃, 浦風雅春, 岸田みか, 木林悦子, 小林英毅, 木原進士, 船橋 徹, 佐藤 啓, 山崎勝也, 小林 正: アディポネクチンのIL-8産生抑制作用—血管内皮細胞およびTHP-1細胞での検討—. 第46回日本糖尿病学会年次学術集会, 2003, 5, 富山.
- 32) 金谷由紀子, 鈴木ひかり, 平岩善雄: 糖尿病教育入院患者の患者背景と合併症—9日間入院コースと3日間入院コースにおいて—. 第46回日本糖尿病学会年次学術集会, 2003, 5, 富山.
- 33) 福居和人, 笹岡利安, 和田 努, 村上史峰, 石原 元, 平谷和幸, 川原順子, 小林 正: 長期インスリン処置により惹起されたインスリン作用不全に対する内因性SHIP2機能の阻害による改善効果の検討. 第46回日本糖尿病学会年次学術集会, 2003, 5, 富山.
- 34) 木林悦子, 浦風雅春, 小橋親晃, 岸田みか, 川原順子, 佐藤 啓, 山崎勝也, 小林 正: ヒト血管内皮細胞におけるthrombin刺激のRaf活性化に及ぼすHMG-CoA還元酵素阻害剤NK104の抑制作用. 第46回日本糖尿病学会年次学術集会, 2003, 5, 富山.

- 35) 香川正太, 笹岡利安, 石原 元, 村上史峰, 福居和人, 和田 努, 山崎勝也, 佐藤 啓, 浦風雅春, 小林 正: 日本人2型糖尿病におけるPTEN (phosphatase and tensin homolog deleted on chromosome 10) 遺伝子多型性の解析. 第46回日本糖尿病学会年次学術集会, 2003, 5, 富山.
- 36) 杉政美雪, 鍋山昭子, 田中恵子, 山崎勝也, 小林 正: 糖尿病入院情報管理システムPathDiCの運用—第3報—. 第46回日本糖尿病学会年次学術集会, 2003, 5, 富山.
- 37) 杉田由美子, 藤川真理子, 市崎雅子, 谷村智恵, 村上慶子, 岩田 実, 山崎勝也, 小林 正: 大山町母子保健事業における糖尿病予防事業の工夫—個別健康教育と魅力ある糖尿病教室づくりをめざして—. 第46回日本糖尿病学会年次学術集会, 2003, 5, 富山.
- 38) 市崎雅子, 藤川真理子, 谷村智恵, 杉田由美子, 村上慶子, 岩田 実, 山崎勝也, 豊田長康, 小林 正: 大山町母子保健事業における糖尿病予防事業—グループコースチャレンジテストの施行を通して—. 第46回日本糖尿病学会年次学術集会, 2003, 5, 富山.
- 39) 山口昌樹, 川島裕司, 神戸成典, 亀井智成, 山崎勝也, 小林 正: 歯肉溝液を用いた非侵襲血糖測定手法の経時的評価. 第46回日本糖尿病学会年次学術集会, 2003, 5, 富山.
- 40) 神戸成典, 川島裕司, 山口昌樹, 本田宣昭, 山崎勝也, 小林 正: データマイニングによる血糖値の変動傾向の推定. 第46回日本糖尿病学会年次学術集会, 2003, 5, 富山.
- 41) 山口昌樹, 神戸成典, 山崎勝也, 小林 正, 本田宣昭, 筒井宏明, 総田長生: 体調変数とデータマイニングを用いた血糖値の推定. 生活支援工学系学会連合大会, 2003, 5, 愛知.
- 42) 藤田 聡, 榎谷敏孝, 鳴河宗聡, 河岸由紀男, 小田寛文, 三輪敏郎, 藤下 隆, 荒井信貴, 菓子井達彦, 松井祥子, 丸山宗治, 小林 正, 一木克之, 土岐善紀, 薄田勝男, 松井一裕: 鳩飼育が原因と考えられた慢性過敏性肺臓炎の1例. 第62回日本結核病学会・第51回日本呼吸器学会・第36回日本気管支学会・第21回日本サルコイドーシス学会合同北陸地方会, 2003, 6, 新潟.
- 43) 鳴河宗聡, 藤下 隆, 小田寛文, 三輪敏郎, 菓子井達彦, 河岸由紀男, 藤田 聡, 荒井信貴, 松井祥子, 丸山宗治, 小林 正: パクリタキセルによる薬剤性肺炎が疑われた肺腺癌の1例. 第62回日本結核病学会・第51回日本呼吸器学会・第36回日本気管支学会・第21回日本サルコイドーシス学会合同北陸地方会, 2003, 6, 新潟.
- 44) 三輪敏郎, 河岸由紀男, 鳴河宗聡, 小田寛文, 藤田 聡, 藤下 隆, 荒井信貴, 松井祥子, 菓子井達彦, 丸山宗治, 小林 正, 一木克之, 土岐善紀, 津田基晴, 三崎拓郎, 清水正司, 野村邦紀, 瀬戸 光, 薄田勝男: 胸部異常陰影の精査を契機に原発巣が発見された大腸癌肺転移の1例. 第48回日本肺癌学会北陸部会, 2003, 6, 福井.
- 45) 小田寛文, 河岸由紀男, 鳴河宗聡, 三輪敏郎, 藤田 聡, 藤下 隆, 荒井信貴, 松井祥子, 菓子井達彦, 丸山宗治, 小林 正, 野村邦紀, 瀬戸 光: 当科における長期生存切除不能非小細胞肺癌の臨床的検討. 第48回日本肺癌学会北陸部会, 2003, 6, 福井.
- 46) 岸田みか, 浦風雅春, 常田美佐子, 多喜博文, 山崎勝也, 佐藤 啓, 小林 正, 田中三千雄: 脳, 副腎転移をきたした十二指腸癌の1例. 第81回日本消化器内視鏡学会北陸地方会, 2003, 6, 富山.
- 47) 山崎 夕, 熊野義久, 栗山政人, 米山 宏, 手丸理恵, 五島 敏, 南 眞司, 井窪万里子, 林伸一: 意識障害にて搬送され急激な経過をたどった2型糖尿病の1剖検例. 第190回日本内科学会北陸地方会, 2003, 6, 福井.
- 48) 傍島光男, 蓑 毅峰, 河岸由紀男, 山田 徹, 篠田晃一郎, 大崎博幸, 多喜博文, 杉山英二, 小林 正, 石澤 伸, 常山幸一, 松井一裕: 両側下葉にびまん性浸潤影を呈した多発性筋炎の1例. 第190回日本内科学会北陸地方会, 2003, 6, 福井.
- 49) 多喜博文, 蓑 毅峰, 篠田晃一郎, 大崎博幸, 菅原秀徳, 泉野 潔, 杉山英二, 小林 正: 間質性肺炎を合併し慢性の経過をたどったANCA関連血管炎の2例. 第15回中部リウマチ学会, 2003, 9, 長野.
- 50) 岸田みか, 多喜博文, 藤田 聡, 高森映子, 蓑 毅峰, 篠田晃一郎, 杉山英二, 小林 正: パルボウイルスB19持続感染の関与が示唆される全身性エリテマトーデス, 皮膚筋炎重複症候群の1例. 第15回中部リウマチ学会, 2003, 9, 長野.
- 51) 川原順子, 多喜博文, 篠田晃一郎, 蓑 毅峰, 杉山英二, 小林 正: リポ化ステロイド (パルミチン酸デキサメサゾン) が効果的であった成人発症Still病の1例. 第15回中部リウマチ学会, 2003, 9, 長野.
- 52) 篠田晃一郎, 長谷川聡子, 市川智巳, 蓑 毅峰, 多喜博文, 杉山英二, 小林 正: 慢性再発性多発性骨髄炎 (CRMO) の経過中に高安静脈炎を合

- 併した1例. 第15回中部リウマチ学会, 2003, 9, 長野.
- 53) 朴木博幸, 神原健太, 篠田晃一郎, 蓑 毅峰, 多喜博文, 杉山英二, 小林 正, 三輪敏郎: 弾性ストッキングの着用にて軽快を示したシェーグレン症候群に伴う高 γ グロブリン血症性紫斑の1例. 第15回中部リウマチ学会, 2003, 9, 長野.
- 54) 神原健太, 杉山英二, 傍島光男, 蓑 毅峰, 篠田晃一郎, 朴木博幸, 菅原秀徳, 泉野 潔, 多喜博文, 小林 正: SLEの経過中に蛋白尿の増悪をきたし, ループス腎炎との鑑別を要したパルボウイルスB19関連腎炎の1例. 第15回中部リウマチ学会, 2003, 9, 長野.
- 55) 安藤孝将, 松井祥子, 多喜博文, 杉山英二, 小林 正, 松井一裕, 董 凌莉, 正木康史, 菅井進: 興味ある肺病変, 脾病変を呈したシェーグレン症候群の1例. 第15回中部リウマチ学会, 2003, 9, 長野.
- 56) 松下 功, 宇月美和, 木村友厚, 杉山英二: MTX療法中に多発性リウマトイド結節を生じた関節リウマチの1例. 第15回中部リウマチ学会, 2003, 9, 長野.
- 57) 荒屋 潤, 朴木久恵, 鈴木崇之, 堀 宏之, 絹野裕之, 高野敦子, 中林智之, 多喜博文: 肺胞出血をきたした関節リウマチの1例. 第191回日本内科学会北陸地方会, 2003, 9, 金沢.
- 58) 金谷由紀子, 川原順子, 宇野立人, 川端康一, 井窪万里子, 岸田みか, 岩田 実, 佐藤 啓, 山崎勝也, 笹岡利安, 多喜博文, 浦風雅春, 小林 正: 診断に苦慮した低血糖の1例. 第191回日本内科学会北陸地方会, 2003, 9, 金沢.
- 59) 朴木久恵, 荒屋 潤, 鈴木崇之, 堀 宏之, 絹野裕之, 高野敦子, 中林智之, 多喜博文, 金柏浩一: 関節リウマチ治療経過中に両側多量胸水を生じたSLEの1例. 第191回日本内科学会北陸地方会, 2003, 9, 金沢.
- 60) 薄井 勲: 成長ホルモンによるインスリン抵抗性のメカニズム. The Sixth Lilly International Symposium, 2003, 10, 神戸.
- 61) 岩田 実, 鷹田美智代, 藤田 聡, 林 龍二, 佐藤 啓, 笹岡利安, 岸田みか, 川原順子, 宇野立人, 丸山宗治, 山崎勝也, 浦風雅春, 小林 正, 松井一裕: ミトタン(O,p'-DDD)を投与したクッシング症候群の2例. 第3回日本内分泌学会北陸地方会, 2003, 10, 富山.
- 62) 仙田聡子, 金谷由紀子, 鈴木ひかり, 松原隆夫, 平岩善雄: ミトタンで治療したACTH-independent macronodular adrenocortical hyperplasia (AIMAH) の1例. 第3回日本内分泌学会北陸地方会, 2003, 10, 富山.
- 63) 賀 劍英, 薄井 勲, 平谷和幸, 石塚 健, 小林 正: インターロイキン-1 α (IL-1 α) によるインスリン抵抗性の機序の解明. 第3回日本内分泌学会北陸地方会, 2003, 10, 富山.
- 64) 高森映子, 藤田 聡, 岸田みか, 川原順子, 岩田 実, 菓子井達彦, 山崎勝也, 佐藤 啓, 笹岡利安, 浦風雅春, 小林 正, 常山幸一: 白血球増多を伴いG-CSF産生が疑われた甲状腺乳頭癌肺転移の1例. 第3回日本内分泌学会北陸地方会, 2003, 10, 富山.
- 65) 河岸由紀男, 丸山宗治, 宮林弘太郎, 荒井信貴, 三輪敏郎, 松井祥子, 菓子井達彦, 小林 正: 軽・中等症喘息患者におけるパルミコートとフルタイドの臨床効果の比較. 第53回日本アレルギー学会総会, 2003, 10, 岐阜.
- 66) 宮林弘太郎, 丸山宗治, 河岸由紀男, 篠田千恵, 山田 徹, 松井祥子, 菓子井達彦, 小林 正: β 刺激剤の抗炎症効果の基礎的解析. 第53回日本アレルギー学会総会, 2003, 10, 岐阜.
- 67) 青田梨奈, 笹岡利安, 木村郁子, 和田 努, 福居和人, 岩田 実, 平谷和幸, 小林 正: 血管平滑筋細胞においてTNF α がインスリンシグナルに及ぼす影響の検討. 第68回日本糖尿病学会中部地方会, 2003, 10, 福井.
- 68) 菓子井達彦, 小田寛文, 三輪敏郎, 藤田 聡, 藤下 隆, 松井祥子, 丸山宗治, 小林 正, 野村邦紀, 瀬戸 光: Gefitinib (イレッサ[®])の投与を行なった非小細胞肺癌患者におけるFDG-PETスキャンを用いた治療効果判定の有用性. 第41回日本癌治療学会総会, 2003, 11, 札幌.
- 69) 菓子井達彦, 小田寛文, 三輪敏郎, 山田 徹, 河岸由紀男, 藤下 隆, 松井祥子, 丸山宗治, 小林 正, 松井一裕, 一木克之, 土岐善紀, 三崎拓郎, 薄田勝男: 当科におけるbronchioloalveolar carcinoma (BAC)の臨床的検討. 第44回日本肺癌学会総会, 2003, 11, 東京.
- 70) 三輪敏郎, 菓子井達彦, 河岸由紀男, 小田寛文, 藤下 隆, 松井祥子, 丸山宗治, 小林 正, 野村邦紀, 瀬戸 光: Gefitinib (イレッサ[®])を用いた非小細胞肺癌化学療法効果判定におけるFDG-PETスキャンの有用性. 第44回日本肺癌学会総会, 2003, 11, 東京.
- 71) 小谷義一, 山本信之, 福岡正博, 中川和彦, 杉浦孝彦, 高木佳木, 根来俊一, 松井 薫, 菓子井

- 達彦, 高田 実, 中西洋一, 加藤晃史, 有吉 寛: 進行非小細胞肺癌に対するgemcitabine+CBDCAとgemcitabine+vinorelbineの無作為化第Ⅱ相試験: WJTOG0104. 第44回日本肺癌学会総会, 2003, 11, 東京.
- 72) 荒井信貴, 松井祥子, 鳴河宗聡, 河岸由紀男, 三輪敏郎, 藤田 聡, 藤下 隆, 菓子井達彦, 多喜博文, 丸山宗治, 小林 正, 松井一裕, 土岐善紀, 一木克之, 薄田勝男: 膠原病肺にMTXによる薬剤性肺炎を合併した1例. 第63回日本結核病学会・第52回日本呼吸器学会・第37回日本呼吸器内視鏡学会・第22回サルコイドーシス学会合同北陸地方会, 2003, 11, 富山.
- 73) 三輪敏郎, 菓子井達彦, 河岸由紀男, 小田寛文, 藤田 聡, 藤下 隆, 荒井信貴, 松井祥子, 丸山宗治, 小林 正: 非小細胞癌におけるgefitinib (イレッサ[®]) 長期奏効例の臨床的検討. 第63回日本結核病学会・第52回日本呼吸器学会・第37回日本呼吸器内視鏡学会・第22回サルコイドーシス学会合同北陸地方会, 2003, 11, 富山.
- 74) 神原健太, 三輪敏郎, 朴木博幸, 篠田晃一郎, 河岸由紀男, 藤田 聡, 藤下 隆, 荒井信貴, 菓子井達彦, 松井祥子, 丸山宗治, 小林 正, 薄田勝男: 特徴的な画像所見を呈したアレルギー性気管支肺アスペルギルス症の1例. 第63回日本結核病学会・第52回日本呼吸器学会・第37回日本呼吸器内視鏡学会・第22回サルコイドーシス学会合同北陸地方会, 2003, 11, 富山.
- 75) 川端康一, 松井祥子, 金谷由紀子, 川原順子, 宇野立人, 鳴河宗聡, 河岸由紀男, 三輪敏郎, 藤田 聡, 藤下 隆, 荒井信貴, 菓子井達彦, 丸山宗治, 小林 正, 林 伸一, 松井一裕: リンパ腫様肉芽腫の1例. 第63回日本結核病学会・第52回日本呼吸器学会・第37回日本呼吸器内視鏡学会・第22回サルコイドーシス学会合同北陸地方会, 2003, 11, 富山.
- 76) 傍島光男, 河岸由紀男, 蓑 毅峰, 小田寛文, 三輪敏郎, 鳴河宗聡, 藤田 聡, 多喜博文, 杉山英二, 松井祥子, 菓子井達彦, 丸山宗治, 小林 正, 松井一裕: 関節リウマチ患者に生じたFDG-PET陽性肺結節の2例. 第63回日本結核病学会・第52回日本呼吸器学会・第37回日本呼吸器内視鏡学会・第22回サルコイドーシス学会合同北陸地方会, 2003, 11, 富山.
- 77) 福居和人, 笹岡利安, 石原 元, 和田 努, 村上史峰, 柳楽清文, 薄井 勲, 小林 正: 肝でのSHIP2の発現がインスリン作用に及ぼす影響の検討. 第15回分子糖尿病学シンポジウム, 2003, 12, 熊本.
- 78) Kashii T., Oda H., Miwa T., Fujita T., Hayashi R., Matsui S., Maruyama M., Kobayashi M., Nomura K., Seto H., Matsunari I., and Hisada K.: Utility of FDG-PET for evaluation of chemotherapeutic response in primary lung cancer. 39th Annual Meeting of American Society of Clinical Oncology, 2003, 5, Chicago.
- 79) Horio Y., Yamamoto N., Takada Y., Negoro S., Matsui K., Kashii T., Takada M., Nakanishi Y., Kato T., Fukuoka M., and West Japan Thoracic Oncology Group.: A randomized phase II study of carboplatin /gemcitabine (CG) versus vinorelbine/gemcitabine (VG) in patients (pts) with advanced non-small cell lung cancer (NSCLC); West Japan Thoracic Oncology Group (WJTOG) 0104. 39th Annual Meeting of American Society of Clinical Oncology, 2003, 5, Chicago.
- 80) Matsui S., Sugiyama E., Taki H., Fujita T., Maruyama M., and Kobayashi M.: Pulmonary function tests and HRCT in patients with primary Sjögren's syndrome. 99th International conference of American Thoracic Society, 2003, 5, Seattle.
- 81) Yamaguchi M., Kawabata Y., Yamazaki K., Kobayashi M., and Ito T.: Proposal of blood-collecting needle approach to semi-invasive method. 12th Japan-Korea Symposium on Diabetes Mellitus, 2003, 5, Nagoya.
- 82) Kobayashi M., Kaku K., Kawamori R., Iwamoto Y., and Seino Y.: Glimperide improves HbA1c without weight gain in obese Japanese type 2 diabetic patients. 63rd Scientific Sessions of The American Diabetes Association, 2003, 6, New Orleans.
- 83) Usui I., Imamura T., Satoh H., Huang J., and Olefsky J.M.: GRK2 can mediate the effects of chronic endothelin-1 treatment to cause insulin resistance in 3T3-L1 adipocytes. 63rd Scientific Sessions of The American Diabetes Association, 2003, 6, New Orleans.
- 84) Wada T., Sasaoka T., Ishihara H., Murakami S., Fukui K., and Kobayashi M.: Insulin-induced activation of Akt2 at the plasma

- membrane is predominantly regulated by SHIP2 in 3T3-L1 adipocytes. 63rd Scientific Sessions of The American Diabetes Association, 2003, 6, New Orleans.
- 85) Fukui K., Sasaoka T., Wada T., Murakami S., Ishihara H., Hiratani K., Kawahara J., and Kobayashi M.: Inhibition of endogenous SHIP2 ameliorates insulin resistance caused by the chronic insulin treatment in 3T3-L1 adipocytes. 63rd Scientific Sessions of The American Diabetes Association, 2003, 6, New Orleans.
- 86) Yamaguchi M., Kanbe S., Wardell K., Yamazaki K., Kobayashi M., Honda N., Tsutsui H., and Kaseda C.: Trend Estimation of Blood Glucose Level Fluctuations Based on Data Mining. The 7th World Multiconference on Systemics, Cybernetics and Informatics, 2003, 7, Orlando.
- 87) Kobayashi M., Kaku K., Kawamori R., Iwamoto Y., and Seino Y.: Safety and efficacy of once-daily administration of Glimperide in Japanese patients with Type 2 diabetes mellitus. 18th International Diabetes Federation Congress, 2003, 8, Paris.
- 88) Urakaze M., Kobayashi M., Kaku K., Kawamori R., Iwamoto Y., and Seino Y.: The further effect of glimepiride on blood glucose level and body weight in obese Japanese Type 2 diabetes patients. 18th International Diabetes Federation Congress, 2003, 8, Paris.
- 89) Kanatsuka A., Kobayashi M., and Takagi H.: Actual using status of insulin preparations and oral hypoglycemic agents in Japan CoDiC-based analysis of clinical data obtained at multiple institutions. 18th International Diabetes Federation Congress, 2003, 8, Paris.
- 90) Kashii T., Kasahara K., Nishi K., Kita T., Oda H., Miwa T., Maruyama M., Fujimura M., Nakao S., Kobayashi M., and Hokuriku Lung Cancer Chemotherapy Group.: A phase II study of bi-weekly paclitaxel and carboplatin in patients with advanced non-small cell lung cancer (NSCLC). 9th World Conference on Lung Cancer, 2003, 8, Vancouver.
- 91) Miwa T., Kashii T., Oda H., Fujita T., Fujishita T., Matsui S., Maruyama M., Kobayashi M., Nomura K., and Seto H.: FDG-PET scan in the evaluation of gefitinib (IRESSA[®]) for patients with non-small cell lung cancer (NSCLC). 9th World Conference on Lung Cancer, 2003, 8, Vancouver.
- 92) Urakaze M., Kobashi C., Kibayashi E., Kishida M., Takata M., Sato A., Yamazaki K., Temaru R., and Kobayashi M.: The inhibitory effect of an HMG-CoA reductase inhibitor, NK-104, on the activity of Rafinduced by thrombin in human aortic endothelial cells. XIII the International Symposium on Atherosclerosis, 2003, 9, Kyoto.
- 93) Usui I., Imamura T., Ishizuka K., Sasaoka T., Olefsky J.M., and Kobayashi M.: GRK 2 can cause insulin resistance in 3T3-L1 adipocytes. The 5th Insulin Action Symposium, 2003, 10, Tokyo.
- 94) Kashii T., Miwa T., Kawagishi Y., Oda H., Fujita T., Arai N., Matsui S., Maruyama M., Kobayashi M., Nomura K., and Seto H.: Evaluation of the response for gefitinib (IRESSA[®]) in patients with non-small cell lung cancer (NSCLC) using FDG-PET scan. 6th International Conference of the Asian Clinical Oncology Society, 2003, 11, Seoul.
- 95) Kobayashi M.: Diabetes-From its pathogenesis to regional health care (President lecture). The 5th Symposium on Molecular Diabetology in Asia, 2003, 12, Osaka.
- 96) He J., Usui I., Hiratani K., Ishizuka K., Urakaze M., Sasaoka T., and Kobayashi M.: Mechanisms of interleukin-1 α -induced insulin resistance in 3T3-L1 adipocytes. The 5th Symposium on Molecular Diabetology in Asia, 2003, 12, Osaka.

◆ その他

- 1) 岸田みか, 浦風雅春, 常田美佐子, 岩田 実, 宇野立人, 川原順子, 山崎勝也, 佐藤 啓, 笹岡利安, 多喜博文, 小林 正: 脳転移, 副腎転移をきたした十二指腸癌の1例. 第77回中部地区老年医学談話会, 2003, 1, 名古屋.
- 2) 安藤孝将, 河岸由紀男, 松井祥子, 多喜博文, 杉山英二, 小林 正: 興味ある肺病変, 脾病変を呈したシェーグレン症候群の1例. 第38回北陸臨床免疫・症例検討/研究会, 2003, 1, 金沢.

- 3) 杉山英二, 原田修次, 篠田晃一郎, 多喜博文, 蓑 毅峰, 小林 正, 金 哲雄, 岸 裕幸, 村口 篤: インターロイキン-4 (IL-4) の抗炎症作用- 関節リウマチ滑膜細胞のアラキドン酸代謝酵素の発現に対するIL-4の抑制作用-. 第3回COX研究会, 2003, 2, 東京.
- 4) 山崎勝也: 第46回日本糖尿病学会共同研究発表内容の報告. 第5回糖尿病データマネジメント研究会, 2003, 2, 東京.
- 5) 杉山英二, 原田修次, 篠田晃一郎, 蓑 毅峰, 多喜博文, 小林 正: IL-4の抗炎症作用- 関節リウマチ滑膜細胞におけるアラキドン酸代謝酵素の発現に対するIL-4の抑制作用-. 第24回富山免疫アレルギー研究会, 2003, 3, 富山.
- 6) 岩田 実, 小林 正: 西洋食によるインスリン抵抗性-インスリンシグナル伝達からのspeculation-. 第7回シンポジウム糖尿病, 2003, 3, 東京.
- 7) 小田寛文, 菓子井達彦, 山田 徹, 河岸由紀男, 宮林弘太郎, 鳴河宗聡, 三輪敏郎, 藤田 聡, 藤下 隆, 松井祥子, 丸山宗治, 小林 正, 野村邦紀, 瀬戸 光: 急激な経過で原発巣の増大と脳転移を来した肺大細胞癌の1例. 第26回富山肺癌研究会, 2003, 4, 富山.
- 8) 小橋親晃, 岸田みか, 石塚 健, 川原順子, 岩田 実, 宇野立人, 佐藤 啓, 山崎勝也, 浦風雅春, 杉山英二, 笹岡利安, 小林 正: ラトケ嚢胞が原因と考えられた中枢性尿崩症の1例. 北陸合同内分泌懇話会, 2003, 5, 金沢.
- 9) 菓子井達彦: 当科における肺癌化学療法の実際. 第5回富山肺癌化学療法セミナー, 2003, 6, 富山.
- 10) 三輪敏郎: 肺癌化学療法における有害事象対策. 第5回富山肺癌化学療法セミナー, 2003, 6, 富山.
- 11) 松井祥子: 在宅で安心して過ごすには. 第7回富山県低肺機能者の会「らいちょう」総会, 2003, 6, 富山.
- 12) 岩田 実, 小林 正: 糖尿病について. 平成15年度大山町糖尿病教室, 2003, 6, 富山.
- 13) 三輪敏郎, 菓子井達彦, 山田 徹, 河岸由紀男, 宮林弘太郎, 鳴河宗聡, 小田寛文, 藤田 聡, 藤下 隆, 松井祥子, 丸山宗治, 小林 正, 清水正司, 野村邦紀, 瀬戸 光, 松成一朗, 久田欣一: Gefitinib (イレッサ®) の治療効果判定におけるFDG-PETスキャンの有用性. 第16回富山癌治療懇話会学術講演会, 2003, 6, 富山.
- 14) 岸田みか, 多喜博文, 藤田 聡, 高森映子, 蓑 毅峰, 篠田晃一郎, 大崎博幸, 杉山英二, 小林 正: ヒトパルボウイルスB19持続感染に関連した全身性エリテマトーデス, 皮膚筋炎overlap症候群の1例. 第39回北陸臨床免疫・症例検討/研究会, 2003, 6, 金沢.
- 15) 佐藤 啓, 小橋親晃, 岸田みか, 鷹田美智代, 川原順子, 岩田 実, 山崎勝也, 笹岡利安, 浦風雅春, 小林 正: 超音波による頸動脈硬化所見と糖尿病大血管障害の合併率の検討. 第1回食後高血糖と高脂血症を考える会, 2003, 7, 富山.
- 16) 浦風雅春: 糖尿病と大血管障害. 第8回新川地区「臨床医のための糖尿病研究会」学術講演会, 2003, 9, 魚津.
- 17) 浦風雅春: 糖尿病性腎症の管理-腎不全を阻止するために-. 第23回腎不全対策を語るつどい, 2003, 9, 富山.
- 18) 川原順子, 金谷由紀子, 川端康一, 宇野立人, 篠田晃一郎, 蓑 毅峰, 多喜博文, 杉山英二, 小林 正: 肺出血をきたした全身性エリテマトーデスの2例. 第18回富山県リウマチ性疾患研究会, 2003, 9, 富山.
- 19) 小橋親晃, 浦風雅春, 木林悦子, 岸田みか, 佐藤 啓, 山崎勝也, 小林 正: アディポネクチンの血管内皮細胞におけるI κ B- α およびAktのリン酸化に及ぼす影響. 第5回富山生活習慣病を考える会学術講演会, 2003, 9, 富山.
- 20) 浦風雅春, 小橋親晃, 木林悦子, 岸田みか, 鷹田美智代, 手丸理恵, 岩田 実, 薄井 勲, 佐藤 啓, 山崎勝也, 笹岡利安, 小林 正: スタチンの多面的作用-血管内皮細胞におけるIL-8産生抑制効果-. 第2回糖尿病と心疾患を考える会学術講演会, 2003, 10, 富山.
- 21) 三輪敏郎: 非小細胞肺癌におけるdocetaxelを用いた2nd line chemotherapyの臨床的検討. 第3回富山肺癌化学療法フォーラム, 2003, 10, 富山.
- 22) 浦風雅春: 糖尿病と動脈硬化. 西砺波郡市医師会学術講演会, 2003, 11, 小矢部.
- 23) 菓子井達彦: 当科における肺癌化学療法の実際. 第6回富山肺癌化学療法セミナー, 2003, 11, 富山.
- 24) 三輪敏郎: 肺癌化学療法における有害事象対策-当科における塩酸オンダンセトロン (ゾフラン®) 使用の検討-. 第6回富山肺癌化学療法セミナー, 2003, 11, 富山.
- 25) 松井祥子, 中川 肇, 菓子井達彦, 丸山宗治, 小林 正, 林 隆一: 在宅酸素療法管理支援システムの構築について. 第6回COPD研究会, 2003, 11, 富山.

- 26) 松井祥子：たばこの害と禁煙法. 平成15年度富山県禁煙セミナー, 2003, 11, 富山.
- 27) 薄井 勲, 石塚 健, 平谷和幸, 賀 劍英, 岩田 実, 宇野立人, 川原順子, 笹岡利安, 浦風雅春, 小林 正：炎症に伴うインスリン抵抗性の機序の解明. 第10回インスリン抵抗性研究会, 2003, 11, 富山.
- 28) 川原順子, 金谷由紀子, 福島泰男, 宇野立人, 篠田晃一郎, 蓑 毅峰, 多喜博文, 杉山英二, 小林 正：びまん性肺胞出血の治療経過中に血球貪食症候群を合併した全身性エリテマトーデスの1例. 第40回北陸臨床免疫・症例検討/研究会, 2003, 11, 金沢.
- 29) 岩田 実：糖尿病の予防について. 平成15年度大山町糖尿病教室, 2003, 12, 富山.
- 30) 藤田 聡：気管支肺カルチノイドの1例. 第2回北陸呼吸器画像セミナー, 2003, 12, 金沢.
- 31) 川原順子, 浦風雅春, 小橋親晃, 岸田みか, 薄井 勲, 佐藤 啓, 山崎勝也, 笹岡利安, 小林 正：PGE1の投与で動眼神経麻痺の改善を認めた高齢2型糖尿病の1例. 北陸糖尿病集談会, 2003, 12, 金沢.
- 32) 小林 正：神通川流域住民健康調査検討会報告(座談). 神通川流域住民健康調査検討会報告書, 1-142, 2003.
- 33) 松井祥子, 中川 肇, 菓子井達彦, 丸山宗治, 小林 正, 林 隆一：在宅酸素療法管理支援システムの構築. 第7回遠隔医療研究会論文集, 42-43, 2003.
- 34) 松井祥子：たばこ依存症. 看護とやま, 67:11, 2003.
- 35) 佐藤 啓：糖尿病の動脈硬化の臨床的評価. Current Diabetes, 5:13-14, 2003.

内 科 学 (2)

Internal Medicine (2)

教 授	井上 博	Hiroshi Inoue
助 教 授	麻野井英次	Hidetsugu Asanoi
講 師	藤木 明	Akira Fujiki
講 師	能澤 孝	Takashi Nozawa
助 手	供田 文宏	Fumihito Tomoda
助 手	平井 忠和	Tadakazu Hirai
助 手	亀山 智樹	Tomoki Kameyama
助 手	上野 均	Hitoshi Ueno
助 手	水牧 功一	Koichi Mizumaki
助 手	井川 晃彦	Akihiko Igawa
助 手	城宝 秀司	Shuji Joho (研究休職)
文部技官	野手姫代美	Kiyomi Note

◆ 著 書

- 1) 井上 博：心房細動, 心房粗動. 山口 徹, 北原光夫総編集, 今日の治療指針 2003:252-253, 医学書院, 東京, 2003.
- 2) 井上 博：抗不整脈薬. 矢崎義雄監修, 治療薬 Up-to-Date 2003:163-167, 2003.
- 3) 井上 博：不整脈薬物治療の位置づけ. 新博次編集, 抗不整脈薬の新たな展開:14-17, 医薬ジャーナル社, 東京, 2003.
- 4) 井上 博：植え込み型除細動器の最近の進歩. 杉下靖郎, 門間和夫, 矢崎義雄, 高本眞一編集, Annual Review 循環器 2003:186-192, 中外医学社, 東京, 2003.
- 5) 井上 博：抗不整脈薬 (Ib群). 和田 攻, 大久保昭行, 矢崎義雄, 大内尉義編集, 治療薬ガイド 2003~2004:207-210, 文光堂, 東京, 2003.
- 6) 麻野井英次：心筋梗塞後のリハビリテーション, 運動療法. 今日の治療指針2003年版, 山口 徹, 北原光夫総編集:299-300, 医学書院, 東京, 2003.
- 7) 麻野井英次：夜間酸素療法の意義と適応. 堀正二編集, 循環New Trends シリーズ, 心不全治療への挑戦:69-76, Medical View社, 東京, 2003.
- 8) 能澤 孝, 井上 博：循環器疾患. 和田 攻, 大久保昭行, 矢崎義雄, 大内尉義編集, 臨床検査ガイド 2003~2004:54-59, 文光堂, 東京, 2003.
- 9) 井上 博：心電図. 杉本恒明, 小俣政男, 水野美邦総編集, 内科学:518-525, 朝倉書店, 東京, 2003.
- 10) 藤木 明, 井上 博：薬剤による不整脈. 小川聡, 大江 透, 井上 博編, 抗不整脈薬のすべて,